

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】令和 1 年 12 月 5 日 (2019.12.5)

【公表番号】特表 2018-535125 (P2018-535125A)
 【公表日】平成 30 年 11 月 29 日 (2018.11.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-046
 【出願番号】特願 2018-523515 (P2018-523515)
 【国際特許分類】

B 2 9 C 64/118 (2017.01)

G 0 2 B 5/02 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 64/118

G 0 2 B 5/02 B

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光透過性光学構成要素の製造方法であって、前記方法が、少なくとも 2 つの層のスタックを 3 D 印刷するステップを含み、前記少なくとも 2 つの層が異なる屈折率を有する材料で作製され、各層が、前記スタックのスタック方向に対して垂直な光軸を有する、両凸円柱レンズであり、前記スタックが、熱溶解積層法を使用して 3 D 印刷される、方法。

【請求項 2】

前記スタックが、前記スタック方向で前記スタックが湾曲しているように 3 D 印刷される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記方法が、少なくとも 1 つの層が所望のアスペクト比を有するように、印刷処理条件を選択するステップを含む、請求項 1 又は 2 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 4】

前記方法が、少なくとも 2 つの層が異なるアスペクト比を有するように、印刷処理条件を選択するステップを含む、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

前記方法が、少なくとも 1 つの両凸円柱レンズが所望の曲率半径を有するように、印刷処理条件を選択するステップを含む、請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

少なくとも 1 つの層が、光散乱材料、光吸収材料、及び蛍光材料のうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

熱溶解積層法を使用して 3 D 印刷された、光透過性光学構成要素であって、前記光学構成要素が、2 つ以上の層のスタックを備え、前記少なくとも 2 つの層が異なる屈折率を有する材料で作製され、各層が、前記スタックのスタック方向に対して垂直な光軸を有する、両凸円柱レンズである、光透過性光学構成要素。

【請求項 8】

前記スタックが、前記スタック方向で湾曲している、請求項 7 に記載の光学構成要素。

【請求項 9】

少なくとも 2 つの層が、異なるアスペクト比を有する、請求項 7 又は 8 に記載の光学構成要素。

【請求項 10】

少なくとも 1 つの層が、光散乱材料、光吸収材料、及び蛍光材料のうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 7 乃至 9 のいずれか一項に記載の光学構成要素。

【請求項 11】

照明デバイスであって、

少なくとも 1 つの光源と、

請求項 7 乃至 10 のいずれか一項に記載の、少なくとも 1 つの光学構成要素と、を備え、前記少なくとも 1 つの光学構成要素が、前記少なくとも 1 つの光源によって放射された光を受光するように構成されている、照明デバイス。